

## 右肋間小開胸での大動脈弁と僧帽弁の同時手術に関する研究

### 1. 研究の対象

2010年10月～2019年9月までの期間、当院で大動脈弁と僧帽弁の同時手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

近年低侵襲心臓手術の技術は向上し、2018年保険診療での内視鏡下手術の項目が新設されたこともあり、右肋間小開胸での僧帽弁手術や大動脈弁置換術などの単弁手術は日本全国に普及しつつあります。しかし、右肋間小開胸での大動脈弁と僧帽弁の同時手術の報告は少なく、日本においてはまだ限られた施設でしか行われていません。単弁手術と比べると手術時間、心停止時間の延長は顕著であり、その有効性もまだ証明されていないのが現状です。今回我々は、当院で行われた右肋間小開胸での大動脈弁と僧帽弁の同時手術の成績を評価し、その有効性を判断いたします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病歴、治療歴、術前後心エコー検査所見、血液検査データ、入院期間やICU滞在日数などの臨床経過 等

試料：血液 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供は予定しておりません。

### 5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 部長 都津川敏範

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2019年9月30日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者：

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 都津川敏範

研究代表者：

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 都津川敏範